

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

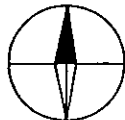
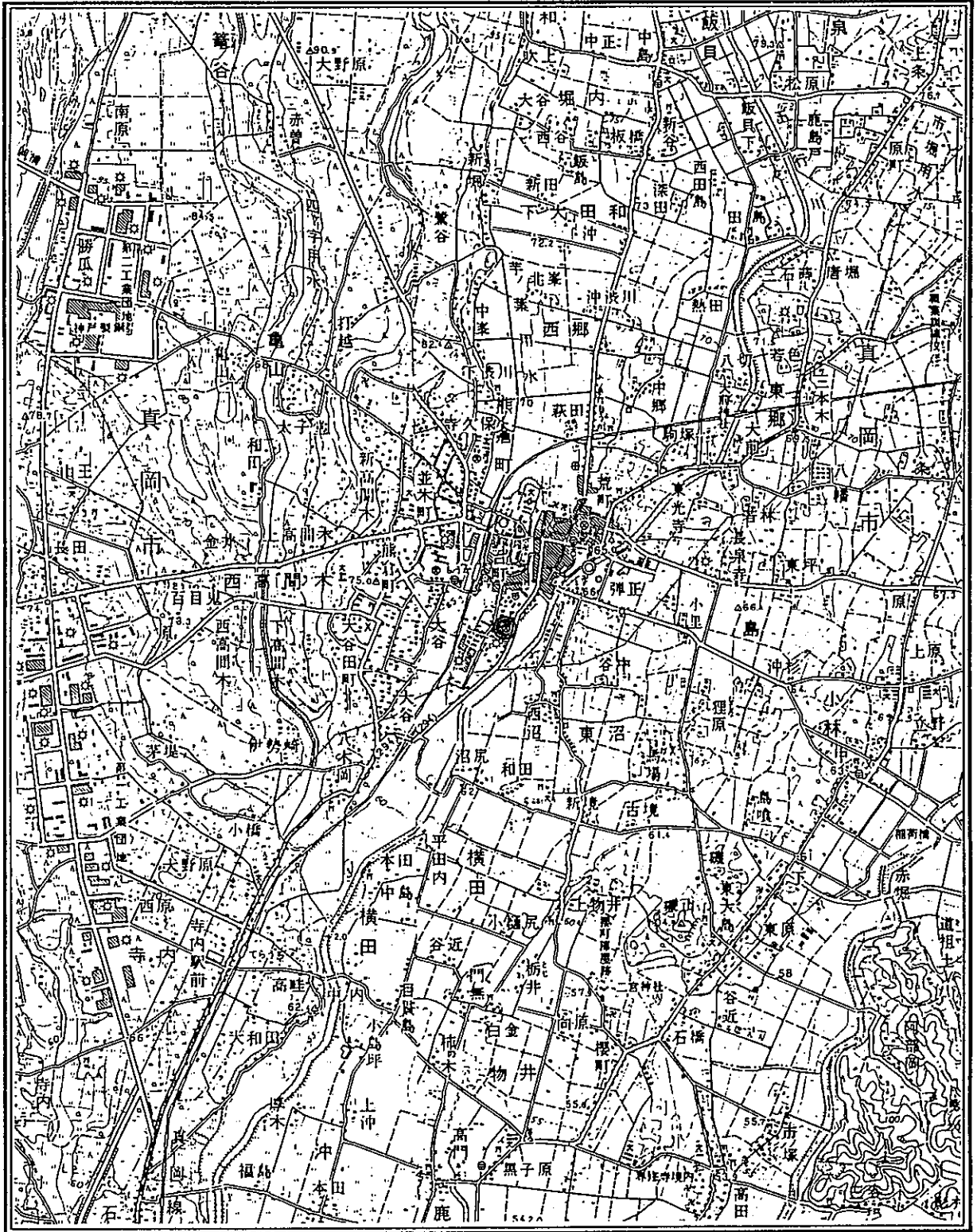
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング案内図

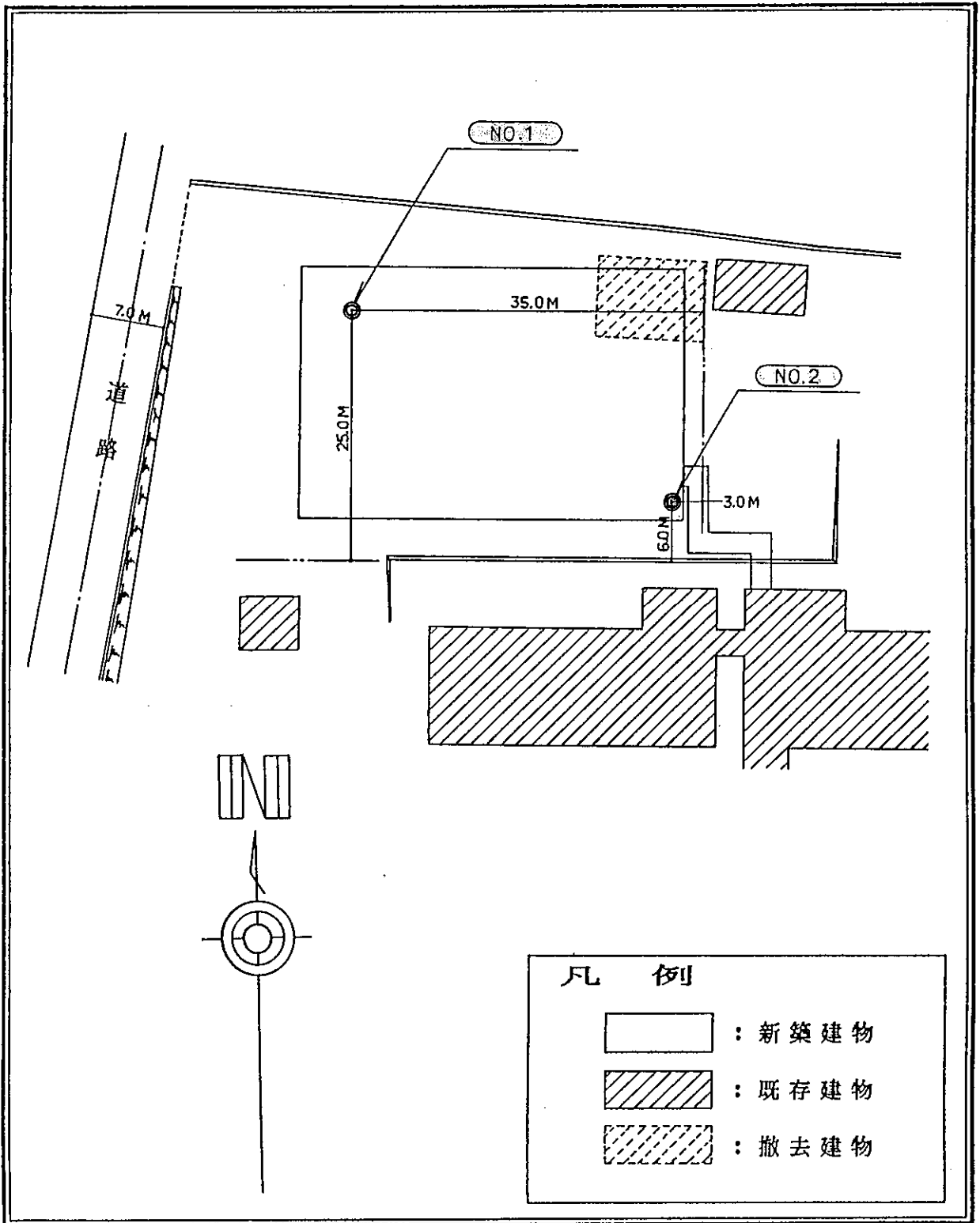
(図-1)



S=1:50000

ボ ー リ ン グ 位 置 図

(図 - 2)



S=1:600

ボーリング柱状図

調査名 真岡女子高等学校体育館 新築工事に伴う地質調査 孔番 No. 1 地盤高 m

調査場所 真岡市台町2815 (基準面)

地 形 摘 要

調査期間 平成元年 5月29日 ~ 5月31日

地下(孔内)水位 G.L-5.00M 調査担当者

標地下水位 高(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置試験 試験深度 (m)	標準貫入試験						
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数						
												10	20	30	40	50	60	70
	0.80	0.80		茶土	暗赤		上部赤土 スプリットコア	1	2-2-3	1.15 1.45	7							
	1.80	1.00		黄褐	黄		砂質粘土 粘	2	1-1-1 15-5-15	2.15 2.50	3 35							
	2.90	1.10		黄褐	黄		粘径不均 含水あり	3	1-1-1	3.15 3.45	3							
	4.25	1.35		黄褐	黄		粘分粘土 粘分砂質粘土 粘入	4	1-1-1 15-12	4.15 4.52	3 37							
	4.49	0.24		黄褐	黄		粘あり											
	5.35	0.86		粘土	黄		粘あり 100m以内の粘	5	3-4-5	5.15 5.45	12							
	5.80	0.45		凝り砂	黄		粘径不均	6	8-17-22	6.15 6.45	47							
				茶色	黄		全体的に粘土 粘と混入し 質と呈す	7	18-24-8	7.15 7.39	50 24							
				茶色	黄		粘径20~30 粘内外の粘 多し	8	18-24-8	8.15 8.38	50 23							
				青緑	黄		最大粘径50 粘内外の粘 100m以内の粘	9	28-22-5	9.15 9.30	50 15							
	10.70	4.90		凝り砂	黄		粘あり 粘質と呈す	10	15-17-16	10.15 10.45	48							
	11.65	0.95		粘土	黄		粘あり	11	3-3-3	11.15 11.45	9							
				暗褐	黄		粘径10~20 粘内外の粘 粘入している	12	18-23-9	12.15 12.37	50 22							
				暗褐	黄		粘径10~20 粘内外の粘 粘入している 100m以内の粘	13	13-13-18	13.15 13.45	44							
	14.29	2.64		凝り砂	黄		粘あり	14	25-25-4	14.15 14.29	50 14							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

